

2023年9月期 ミニディスクロージャー



TOMATO通信

第141期 営業の中間ご報告
(2023年4月1日~2023年9月30日)

がんばろう!岡山

菩提寺の大イチョウ(奈義町)



取締役社長 **高木 晶悟**

平素よりトマト銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
このたび2023年度中間期のミニディスクロージャー（営業の中間ご報告）を作成いたしましたので、ご高覧ください。

2023年度上半期の業績

国内景気は経済活動の正常化が進むことで回復傾向にあるものの、地政学リスクの高まり等により物価高や資源価格高騰など不確実性が高まっています。また、金融市場は日本銀行の政策金利変更による実質的な利上げの動きや、海外においても先行き不透明感が高まっている状況です。

このような環境のもと、中期経営計画最終年度である2023年度上半期の成績は、次のとおりとなりました。

業容につきましては、預金残高は、流動性預金の増加により、前年同期比22億円増加し、1兆2,003億円となりました。貸出金残高は、地元のお客さまを中心に経済活動再開に向けた設備投資への対応や、積極的な資金繰り支援を行った結果、前年同期比144億円増加し、1兆191億円となりました。

損益につきましては、経常収益が資金運用収益の増加等により前年同期比1.4%増の85億99百万円となりました。経常利益は与信関連費用や営業経費の増加、株式等売却益の減少などにより前年同期比20.3%減の9億4百万円、中間純利益は前年同期比18.7%減の6億64百万円と増収減益決算となりました。

貸出金利回りが下げ止まらないなど逆風の環境下ではありましたが、収益、利益ともに公表している業績予想については上回りました。

株主の皆さま、お客さまへのメッセージ

事業者のお客さまにとっては、「人手不足への対応」、「労働生産性の改善に向けた省力化投資」や「デジタル化投資」の必要性など、経営環境が大きく変わっています。

先行きが不透明で将来の予測が困難な時代だからこそ、当社はお客さまに徹底的に寄り添い、資金繰り支援はもちろん、事業の本業支援や、財務の本業支援に加え、経営改善支援や事業再生支援等にも積極的に取り組んでいく所存です。

また、個人のお客さまに対してはライフプランに合わせた資産形成支援や資産承継支援などに取り組んで参ります。

中期経営計画最終年度の集大成にあたり、「本業支援」「最適提案」活動の両輪によりお客さま・地域経済への全力のサポートを行い、「地域になくてはならない銀行」を目指して参ります。お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

当社の概要 (2023年9月30日現在)

本店所在地	…………… 岡山市北区番町2丁目3番4号	店舗数	…………… 61ヵ店(岡山県53ヵ店、兵庫県4ヵ店、
創立年月日	…………… 1931(昭和6)年11月9日		…………… 広島県・大阪府・東京都各1ヵ店、
資本金	…………… 143億1,000万円		…………… インターネット支店1ヵ店)
預金	…………… 1兆2,003億円	社員数	…………… 781名
貸出金	…………… 1兆191億円		(嘱託・パート社員除く)

経営理念

「人をつくり 人につくす」

経営ビジョン

夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行

当社は、2015年4月、10年後の目指す姿として経営ビジョン「夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行」を掲げました。社名のように親しみがあり、生命力の強い銀行になることで、社会経済環境が大きく変化するなかでも、お客さまはもちろん、社員やトマト銀行に関わるすべての人の「夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行」を目指します。

行動指針

トマト銀行の役職員が、常時、行動や判断を行う際の指針として次のとおり定めています。

地域活性化のコーディネーター。

お客さまの真にお役に立てるライフパートナー。

一人ひとりの人間力、全員精鋭主義。

中期経営計画「第3次 未来創生プラン」

2021年4月～2024年3月（3カ年）

経営ビジョン
(10年後の目指す姿)

夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行

基本方針

「本業支援」「最適提案」活動の真価を発揮し、お客さまの課題解決に取り組み、新型コロナの影響により変化する地域経済・産業の成長・発展に貢献することで、当社の持続的成長を目指す。

重点目標

1 「本業支援」と「最適提案」の両輪による、お客さま・地域経済への全力のサポート

2 お客さま・地域経済に貢献するための財務基盤の強化

3 全社員が活躍、成長できる人財育成と職場づくり

経営目標
(単体)

目標項目	2022年度実績	中期経営計画目標
コア業務純益（投信解約損益を除く）	29億円	23億円
当期純利益	17億円	16億円
自己資本比率	8.6%	8%以上
OHR（コア業務粗利益ベース）	79.0%	82%台
ROE（当期純利益ベース）	3.2%	3%以上

中期経営計画の位置づけ

トマト未来創生プラン
(2015年度～2017年度)

第2次 未来創生プラン
(2018年度～2020年度)

第3次 未来創生プラン
(2021年度～2023年度)

「本業支援」活動

法人のお客さまのライフステージに徹底的に寄り添い、お客さまを深く理解することで、事業の成長や課題解決に全社を挙げて取り組む活動

「最適提案」活動

個人のお客さまのライフイベントに徹底的に寄り添い、ニーズにマッチした金融サービスの提供を行い、お客さまの期待に応える全社で取り組む活動

「本業支援」「最適提案」活動をスタート

「進化」への挑戦

「事業の本業支援」と「財務の本業支援」の二刀流により、本業支援活動を深掘り
ビジネスモデルの「深化」

「本業支援」「最適提案」の両輪による、お客さま・地域経済への全力のサポートを行います。

「本業支援」「最適提案」活動の「真価」の発揮

夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行へ

ビジネスモデル「本業支援」活動

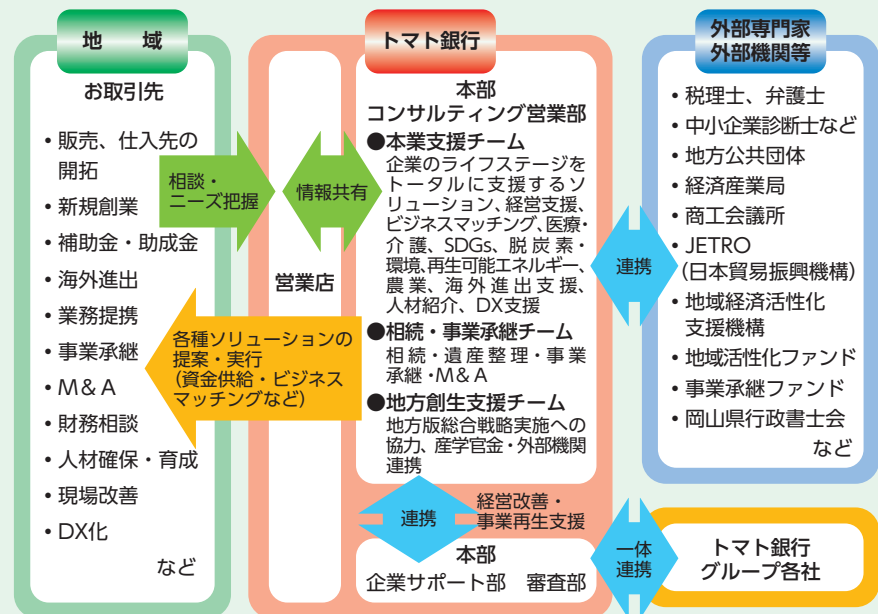


法人のお客さまへの

本業支援

お客さまの経営課題・ニーズに応じた事業・財務の本業支援を積極的に展開します

●中小企業の経営支援に関する態勢整備（外部専門家・外部機関との連携を含む）の状況



●事業・財務の本業支援

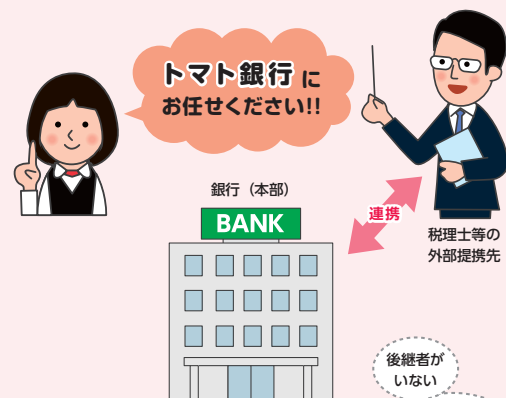
営業店・本部がお客さまと一体となって作成した「経営レポート（事業性評価シート）」に基づきお客さまと経営課題を共有し、課題解決に向けた各種本業支援策の実施や資金繰り・資金調達構造の改善等に取り組んでいます。また、役員、本部関係部署、営業店がお客さまの経営課題解決に向けたソリューションを検討する「本業支援アクション先活動報告会」を定期的で開催しています。



本業支援アクション先活動報告会の様子

●相続・事業承継支援

当社では、専門性の高いスキルを持つ社員を配置した相続・事業承継チームおよびM&Aチームを設置し、外部提携先と連携して、お取引先の課題解決を支援しています。オーナー様へ納得感のある事業承継・資産承継のコンサルティングサービスを提供いたします。



●お客さまのSDGs 経営支援

持続的な地域社会の実現に向けた取り組みとして「トマトSDGs 経営支援サービス」において、お客さまの現在のSDGs 達成状況を診断し、SDGs 達成に向けた課題解決策を提案しています。また、お客さまのSDGs 宣言策定に向けたサポートを行い、当社ホームページ等を通じてお客さまがSDGs 宣言された旨をニュースリリースしています。

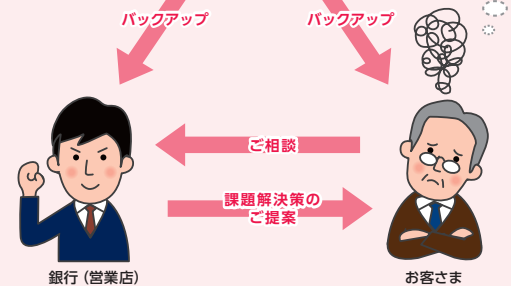


SDGs診断レポート

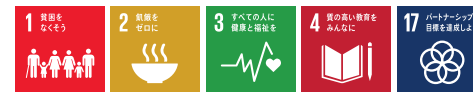
SDGs宣言書

●お客さま向けセミナーの開催

お客さまの販路拡大や事業展開ニーズにお応えするため、様々なセミナーを開催しています。2023年7月には、海外販路開拓・海外進出に関心のある事業者を対象とした「海外展開WEBセミナー」を開催し、越境ECの活用と貿易保険でのリスク軽減について説明などを行いました。



ビジネスモデル「最適提案」活動



個人のお客さまへの

最適提案

お客さまのライフプランに合わせた最適な商品・サービスを提供します

独身世代



- ためる**
- 総合口座
 - 財形預金
 - スーパー積金

- かきる**
- マイカーローン
 - カードローン
 - フリーローン



- そなえる**
- 積立投資信託
 - つみたてNISA
 - 個人型確定拠出年金 (iDeCo)
 - 個人向け国債

- つかわる**
- 給与振込
 - トマト・MOTTOカード
 - トマト・通帳レス口座
 - トマト銀行アプリ



ファミリー世代



- ためる**
- 定期預金
 - 財形預金

- かきる**
- マイカーローン
 - 教育ローン
 - 住宅ローン (新築・借り換え・おまとめ)
 - フリーローン



- そなえる**
- 投資信託・積立投資信託
 - NISA・つみたてNISA・ジュニアNISA
 - 個人型確定拠出年金 (iDeCo)
 - 保険商品
 - 個人向け国債
 - 外貨定期預金

- つかわる**
- 取引ステージ優遇サービス「トマト・スマイルプログラム」
 - 住宅ローンセミナー
 - インターネット・バンキングサービス

シニア世代



- ためる**
- 退職金運用向け金利優遇サービス「セカンドプラスα」

- かきる**
- セカンドライフ応援ローン
 - リフォームローン

- そなえる**
- 投資信託
 - NISA
 - 保険商品
 - 教育資金贈与預金
 - 財産承継プランニング
 - 遺言代用信託・暦年贈与型信託
 - 個人向け国債
 - 外貨定期預金



- つかわる**
- 年金受取
 - 年金相談会
 - 相続セミナー



トマト銀行アプリ



かんたん残高・入出金明細・定期預金明細照会

残高・入出金明細の確認が、いつでもどこでもスマホからできます！

トマト・スマート通帳

他金融機関口座、クレジットカード、電子マネーの一括管理ができます！

ローン残高照会・返済予定表照会機能

お使いいただいているローンの残高照会・返済予定表照会が簡単便利に！

ウォレット機能「WalleToma(ウォレットマ)」

NEW

WalleTomaによりスマホタッチ決済、ネット支払、送金が可能に！

各種お申込み・お手続き

来店不要で各種お申込み・お手続きができます！通帳レス口座への切替、各種ローンのお申し込み、住所変更をスマホから！

店舗・ATM検索・各種ログイン

店舗・ATM検索や各種サービスのログインができます！

アプリのダウンロードはこちらから



・Apple, Appleのロゴ, App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
 ・Google Play, Google Playロゴ, Android, AndroidロゴはGoogle LLCの商標です。
 ・QRコードは、(株) デンソーウェーブの登録商標です。

サステナビリティ方針

トマト銀行グループは、「経営理念」に基づく企業活動を通じて、サステナビリティを巡る課題解決に取り組むことで、地域社会・環境の持続的な発展に貢献していくとともに、トマト銀行グループの中長期的な企業価値の向上と持続可能な成長を目指してまいります。

2021年12月



トマト銀行グループSDGs宣言

トマト銀行グループは、「夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行」という経営ビジョンのもと、金融サービスの提供を通じてSDGsの達成に貢献し、地域の社会・環境課題の解決と持続的な成長に取り組んでまいります。

2020年4月

重点テーマ

地球環境の保全

環境に配慮した企業活動とお客さまの環境保全の取り組みを応援することにより、持続可能な地球環境の保全に貢献します。



地域経済の活性化

お客さまの多様なニーズに応じた本業支援活動を通じて、地域経済の活性化に取り組めます。



豊かな暮らしの実現

お客さま本位の最適な金融サービスの提供と地域社会の課題解決に積極的に取り組み、豊かな地域社会の実現を目指します。



ダイバーシティの推進

すべての社員が能力や個性を最大限発揮し、働きがいを感じる職場環境づくりに取り組めます。



●自治体のSDGs登録制度への賛同状況

岡山市：岡山市SDGs推進パートナーズ
倉敷市：倉敷市・高梁川流域SDGsパートナー
真庭市：真庭SDGsパートナー制度



岡山市SDGs
推進パートナーズ

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同

2023年3月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」提言への賛同を表明しており、気候変動対応に関する取り組みと情報開示を行ってまいります。



サステナブルファイナンス実行目標

2030年度
サステナブルファイナンス累計実行額
(2022年度～2030年度)
500億円
<2022年度実績 151億円>

二酸化炭素排出量削減目標

2030年度
46%削減
(2013年度比)
<2022年度実績
2013年度比▲42.4%>

金融教育への取り組み

地域の小学生等の皆さまに金融授業や銀行窓口体験などを通じてお金や銀行の役割について理解・関心を深めていただく「夏休み！トマト銀行子ども探検隊」など、幅広い金融教育活動を行っています。



「夏休み！トマト銀行子ども探検隊2023」の様子

業務を通じた環境への取り組み

森林整備や緑化推進など、さまざまな環境保全活動にお役立ていただくため、お預入総額の0.1%（上限30万円）を「緑の募金」（公益社団法人岡山県緑化推進協会）へ寄付する「トマトSDGsエコ定期預金」を、2009年より毎年取り扱っています。



トマトSDGsエコ定期預金 贈呈式

地方創生への取り組み

●トマトSDGs私募債
お客さまよりいただく私募債発行手数料の一部を活用して、地域の学校や自治体等へ寄付や物品を寄贈するトマトSDGs私募債を取り扱っています。
▶寄付型（教育応援、地元スポーツチーム応援、地方創生）
▶内容型（環境対応、BCP対応）



寄付型私募債 贈呈式

スポーツ支援の取り組み

スポーツを通じた地域貢献活動として、地元のサッカーチームやバスケットボールチームを応援するため、お預入総額に応じてチーム強化資金を贈呈する応援定期預金などを取り扱っています。



ファジアーノ岡山 チーム強化資金贈呈式

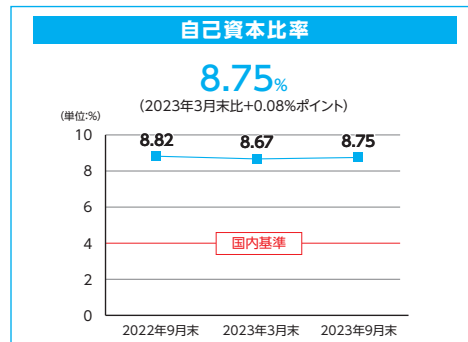
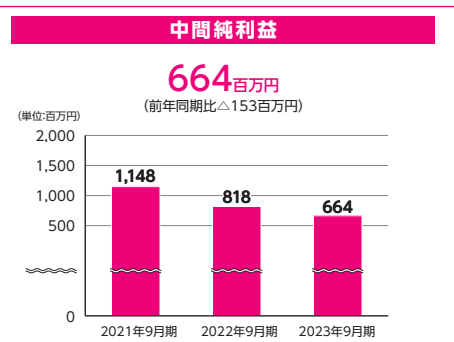
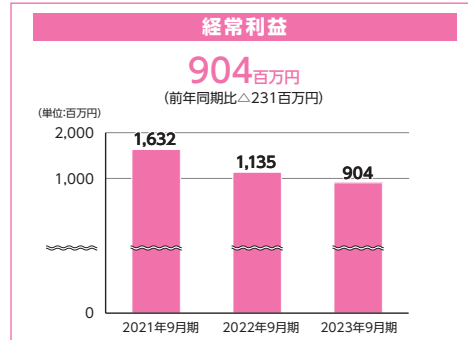
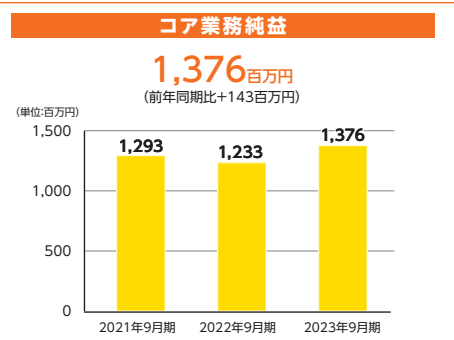
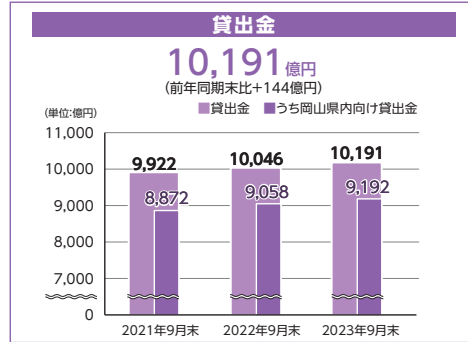
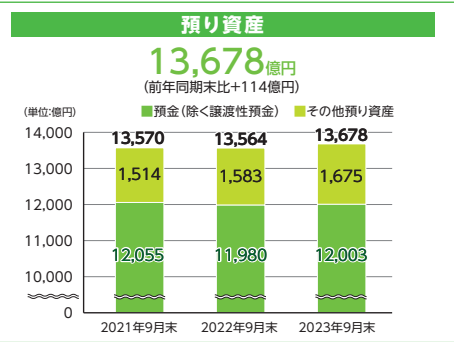
マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関する取り組み

当社は、金融庁により公表されたガイドラインに基づき、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与の防止が国内のみならず国際的にも要請されている重要課題であることを認識し、これらの課題に厳正に対応するため、「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与の防止に関する基本方針」を定めて、適切な管理体制の構築に努めています。



2023年9月期 業績ハイライト (単体)

- ・預り資産は流動性預金の増加により、前年同期末比114億円増加し、1兆3,678億円となりました。
- ・貸出金は資金繰り支援を積極的に行った結果、中小企業向け貸出が増加し前年同期末比144億円増加の1兆1,919億円となりました。
- ・コア業務純益は、経費は増加したものの、有価証券利息や役員取引等利益の増加により前年同期比1億43百万円増益の13億76百万円となりました。
- ・経常利益は、与信関連費用が増加したことなどにより、前年同期比2億31百万円減益の9億4百万円となりました。



役員 (2023年9月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	高木 晶悟	取締役	坪田 泰久	常勤監査役	古武 卓弥
常務取締役	延永 邦彦	取締役	谷本 浩二	監査役※2※3	吉岡 一巳
常務取締役	井上 正樹	取締役※1※3	小川 洋	監査役※2※3	三宅 昇
常務取締役	中 浩二	取締役※1※3	上岡 美保子	監査役※2※3	奥田 哲也
常務取締役	田部 眞康				

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。 ※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
※3は、東京証券取引所へ届出を行っている独立役員であります。

トマト銀行グループ (2023年9月30日現在)

トマトビジネス株式会社	トマトリース株式会社	トマトカード株式会社
銀行業務の後方事務	リース業務	クレジットカード業務
当社出資比率 100%	当社出資比率 100%	当社出資比率 100%

株式の状況・株式のご案内 (2023年9月30日現在)

株式の状況

- 発行済株式総数… 12,679,030株 (普通株式11,679,030株、第2回A種優先株式1,000,000株)
- 株主総数… 9,761名 (普通株式9,739名、第2回A種優先株式22名)

株式のご案内

- 決算日 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催します。
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 公告方法 電子公告とします。
インターネットホームページ：https://www.tomatobank.co.jp/
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および岡山市において発行する山陽新聞に掲載して公告します。

- 株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 - 株主名簿管理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会には、口座のある証券会社宛にお願いします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】
株券電子化前に「はふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いします。

<単元未満株式の買取または買増請求について>
単元未満(100株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。その手続きを希望される場合には、単元未満株式が証券会社等の口座に登録されている株主様はお取引の証券会社等へ、特別口座に登録されている株主様は特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社 ☎0120-782-031)へ、それぞれお申し出ください。

岡山県 美作市・勝央町・奈義町・西栗倉村

美作市は、兵庫県および鳥取県と県境を接しており、豊かな緑と清流などの美しい自然と景観に恵まれた市です。
勝央町は、北部に緩やかな丘陵があり、南北に貫流する滝川に沿って開けた自然豊かな町です。
奈義町は、中国山地の秀峰「那岐山」の南麓に位置し、那岐山麓の四季折々の自然に恵まれた町です。
西栗倉村は、岡山県の北東端、中国山脈の南斜面に開かれた谷あいの村です。



黒大豆「作州黒」



昼夜の気温差が大きく、栽培に適した気候や農家の人々の努力、地域一体となった生産振興体制などが合わさり、「作州黒」というブランドになりました。勝央町を含む、勝英地方の特産品です。

美作市



青年期宮本武蔵像

「二刀流」や「巖流島の決戦」で有名な宮本武蔵。美作国宮本村（現美作市宮本）で生まれ、16歳までをこの地で過ごしたと言われています。1995年に建立された高さ5・6メートルの若き日の武蔵像。17歳の青年期の武蔵が表現されています。また、「宮本武蔵の生誕地」を走る智頭急行智頭線の沿線にある駅「宮本武蔵駅」は全国でも珍しい人名フルネームがそのままづけられた駅です。駅舎にはハート形の窓があり、隠れた恋叶スポットとして写真撮影に人気です。

勝央町



中之町公園 金太郎像

勝央町は昔話でおなじみの金太郎ゆかりの地。静岡県小山町の足柄山で誕生した金太郎は幼少期、熊と相撲したり、マサカリを担いで熊にまたがったりしていましたが、その後、源頼光と出会い、家来となり坂田金時と名を改めました。渡辺綱・碓井貞光・ト部季武とともに四天王の一人として活躍し、筑紫の国（現在の福岡県）へ賊を征伐に行く途中、この地で病によって亡くなり、その亡骸が勝央町内の栗柄神社に葬られたと言われています。

湯郷温泉

岡山県・美作三湯のひとつである湯郷温泉は、歴史は古く、いまから1200年ほど昔の平安時代、慈覚大円仁法師が白鷺に導かれ発見したと伝えられ、別名「鷺の湯」と呼ばれる全国に知られた名湯です。



那岐山

氷ノ山後山那岐山国定公園にも指定されている中国山地の秀峰で、四季折々の豊かな美しい自然に恵まれています。那岐山は古くは那岐の仙（なぎのせん）と呼ばれ、神話のイザナギ、イザナミがこの峰に君臨した伝説に由来するとともに、近隣の後山との高さ比べに負けて泣いたことから「ナキノセン」になったとも言われています。日本三百名山、中国百名山に選ばれています。

奈義町



観音寺（もみじ寺）

観音寺は紅葉の季節に訪れると、地面が黄金色や真っ赤なじゅうたんを敷き詰めたかのような景色が楽しめることからもみじ寺といわれ親しまれています。大きな観音像や、1804年に建てられ（再建）、1990年に大幅な改修が施された本堂、手で掘ったという洞窟『文殊洞』なども人気です。



西栗倉村



若杉天然林

西栗倉村の最北端に位置する別名「若杉原生林」は83ヘクタールの面積に、ブナ、カエデ、ミズナラ、トチノキなどの巨木をはじめとした199種類の樹木が立ち並ぶ中国地方でも有数の天然樹林です。氷ノ山後山那岐山国定公園の特別保護地区に指定されています。

（表紙写真）

菩提寺の大イチョウ

菩提寺境内にそびえる大イチョウは、樹高約45m、目通り周囲約12m、推定樹齢900年を超える岡山県下の大樹で、国の天然記念物に指定され、全国銘木百選にも選ばれています。この大イチョウは、浄土宗の開祖・法然上人のお手植えとされています。

写真提供：岡山観光連盟